

A05 NPO法人 HPS国際ボランティア

代表者：佐藤 廣枝

住 所：広島市西区庚午中1-6-20-202

TEL：082-273-9071

① 社会課題の解決のための事業の名称

「ヒロシマの心」を若い世代へ継続・継承する
(被爆証言のバトンタッチ ～ 輝く生命にエールを)

② 事業の総予算額(助成金申請額)

1,300,000円(1,300,000円)

③ 事業の目的

被爆地ヒロシマとして、被爆者が高齢化する今、若い世代の原爆の碑めぐりガイド育成事業を目的とする。平和の推進イベント及び教育研修に関する事業を行う。

また、人と話すのが苦手な子ども、引きこもりの子ども達が学校、地域、また世代を超え協力しながらヒロシマの真実を学ぶことにより、他者との交流が出来るよう育成、思いやり事業に取り組む。

④ 事業の内容

(1) 平和公園内、他被爆建物、各学校にて広島のを軸とし、福祉教育及び思いやり教育として、原爆の碑めぐりガイドの実習をします。

テキスト中心に、生徒たちは半年～1年間かけて自分のものとし、人前でガイドできるよう実践していきます。参加者はボランティアスタッフ、被爆者、先生方、生徒他です。

(2) 2か月に一度研修会を実施、広島市内の会場を借りて外部講師を招き、研修、講習会をします。学校だけでなく、地域社会とのコミュニケーションを取れるよう、碑めぐりガイドを通じて人とかかわることで、協力、団結心、思いやり精神が芽生えると信じております。講師には、福祉関係、学校の先生、被爆者、青少年育成に関する方々を予定しています。

被爆地ヒロシマだから出来る若い世代への継続、継承することを目的として、私ども独自の思いやり教育を実践していきたいと思っております。

⑤ 備考